

村田さん

キャリアコンサルティング協議会

No. C02	まっちゃん	年月日	令和5年6月13日(火)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

定年退職後に転職を行い、現在は半導体系の企業で技術職として働いているが、仕事の進め方が自分に合わず居心地が悪いと感じている。仕事がやりづらいつ感じる中で、このまま仕事を続けてよいか悩んでいる。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのかを記述せよ。

1行目：良かった点、2行目：悪かった点

(良)

相談者がやりづらいつと考えている理由を傾聴し、抱えている感情をお伺いすることができたという点。

(悪)

前職を退職して現在の会社に転職をした理由について面談の中で相談者に聴くことができなかった点。

【設問3】あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 相談者の問題は以下の2点である。(1)相談者自身がこれまで培ってきた能力・スキルついででの自己理解不足。(2)現在の半導体系企業の職場で求められている役割についての理解不足。

②その根拠根拠は以下の2点であると考えられる。(1)仕事に対する意思決定が早く、ついていけない為、自分には合っていないと考えているが、その根拠が乏しい点。(2)職場での仕事の進め方や考え方について自分には合っておらず、ついていけないと自分自身で考えているという点。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

このまま現在の仕事を続けてよいものなのか思いつ悩む相談者の感情を丁寧に傾聴し、今後のキャリアについて前向きに考えられるように促す。その上で、前職の職場での経験も含めて、今までの自身の仕事を棚卸しして頂き、これまで培ってきた経験・スキルの理解を深めてもらう。また、職場の周りの人間や、上司に仕事の進め方についてコミュニケーションをとることを提案し、現在の職場で技術職として求められている役割についての理解を促進させ、自身のスキルで対応が可能であるかも改めて検討してもらう。以上により、相談者が今後のキャリアを前向きに見据え、主体的に今後について意思決定ができるよう支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2022.11)キャリアコンサルタント試験 実技(論述) 解答用紙